

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ

学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立大仙小学校

校長 伊藤 秀郎

旭学校群教育目標	自ら課題をみつけ、仲間とともに未来を創り出す子どもの育成
令和7年度 学校教育目標 「社会と向き合い、主体的に学び、考えを表現できる子どもの育成」 児童の安全・安心を基盤とし、教職員が子どもたちの「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康・体力」の発展・充実をめざす学校教育活動を行う。そのような学校教育活動をととして、子どもたちが家族・友だち・地域・社会とつながり、主体的に学び、自らの思いを表出できるようにしていく。	
「確かな学び」の現状 基礎学力を大切にし、それらを土台に次の学習を丁寧に積み重ねていくよう、「学校」・「授業」の基本に戻ると同時に、校内研修では、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の観点から、一層の授業改善を模索していく。また、学びのコンパス・STEAMに基づく授業を実践していく必要がある。一方で、既習事項の定着を図るための方策を考え、実践しているかなばならない。	「豊かな心・健やかな体」の現状 子どもたちが、本校の学校教育活動をととして、より一層、豊かな人権感覚を身につけ、「生きる力」の基本となる体力の充実が求められる。規則正しい生活を送ると同時に、他者との関係を大切にし、他者に寄り添い合うことができる関係を主体的に築くことができるようにしていく必要がある。そのために、今年度、各学年で仲間と力を合わせて何かを成し遂げる喜びを分かち合えるような経験ができるようにしていく。

	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★学校群での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	総合的な学力の育成	学びの系統性と総合的な学力の向上	●★学校群、学校教育目標におけるめざす子ども像の実現にむけて、小中9年間を見通した学校教育活動をおこなう。授業では、「学びのコンパス」・「STEAM」を意識した実践をととして子どもたちが主体的に学びに向かう力を養う。	児童対象アンケート「わからないところを尋ねたり自分で調べたりする」肯定的回答85%以上	学校教育アンケート	1月末					
			●子どもたちの「主体的な学び」・「対話的な学び」・「学びの深まり」をめざす授業研究に取組む。年間6回の研究授業をおこなう。	「学校において、学習の過程をふりかえり、自分の学びが深まったり、広がったりしたと思う」肯定的回答80%以上	学校教育アンケート	1月末					
	学びの基礎力	生きる力のもととなる基礎・基本の学力の定着	●漢字の読み書き、計算練習に取り組み、家庭学習の習慣作りと併せて、児童の基礎学力の定着を図る。	学力調査や学校アンケートでの肯定的回答率85%以上	各種調査・学校教育アンケート	1月末					
			●児童1人1台パソコンやICT機器を適切に活用した授業に取り組む。	「授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」週3回以上回答率90%以上	学校教育アンケート	1月末					
			●子どもたちが、自分の考え方や理由を明らかにしたノートを授業でつくることができるようにする。	授業において、「自分が考えた事柄やその理由をノートに書いていますか。」肯定的回答80%以上	学校教育アンケート	1月末					
	豊かな心・健やかな体	豊かな人権感覚と道徳性の育成	子どもに寄り添い、理解し、支援・指導するなかで、子どもたちにとって居場所と出番がある学校教育活動を行い、子どもの自尊感情を育成する。	「自分にはよいところがある」肯定的回答90%以上	各種調査・学校教育アンケート	1月末					
			●特別支援教育、国際理解教育、道徳の授業などの充実をはかり、思いやりの心を持ち、他者を大切にする児童を育成する。	「友だちが困っているときには、自分からすすんで助けようと思う」肯定的回答90%以上	学校教育アンケート	1月末					
			子どもたちに、学校での生活目標を明示し、教職員がその達成に向けて学校教育活動のなかで取組む。	「学校は、学校や社会のルールや決まり、マナーを守る指導を行っている」肯定的回答90%以上	学校教育アンケート	1月末					
		心身の健康 体力向上	健康的で、安全・安心な生活習慣の定着を図る。	「健康に気をつけて生活をしている」肯定的回答90%以上	学校教育アンケート	1月末					
			「体力向上プラン」をふまえた体育授業の充実、保健や食育と合わせた健康についての指導を行う。	「体育の授業が好き」と答える児童の割合80%以上	学校教育アンケート	1月末					
安全安心な学校づくり	危機管理	児童の居場所づくり	●★いじめアンケートによるいじめの早期発見につとめ、子どもたちが心理的に安全・安心して学校で過ごすことができるようにする。子どもたちの情報については教職員で共通理解ができるようにする。	「学校は、児童一人ひとりを大切にし、安心して生活や学習ができる教育活動を行っている」肯定的回答90%以上	学校教育アンケート	1月末					
		安全・安心な教育環境	毎月の安全点検、避難訓練、緊急下校指導を実施し、子どもの安心・安全を守る意識の向上をはかる。また、通学路の安全を確保していく。	「学校は児童が安全に生活できる環境づくりを行っている」肯定的回答90%以上	学校教育アンケート・取組実績	1月末					
			●教職員が食物アレルギー等についての理解を深め、子どもたちにとって安全・安心な学校給食の徹底をはかる。	「学校は、児童に健康や食事、安全に関する指導を行っている」肯定的回答90%以上	学校教育アンケート	1月末					
地域協働	地域協働	家庭・地域と連携した教育の推進	●学校HPを活用し、学校教育活動を公開・発信する。保護者や地域の方が、学校の様子や雰囲気やHPを見れば分かることができるようにする。	「学校は、HPや行事・参観等を通して、学校生活や教育活動を公開し、家庭や地域と連携・協力している」肯定的回答90%以上	学校教育アンケート・取組実績	1月末					

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------